

＊ ローターリーだより

1. 函館東R、C

12月31日の例会は例会場の都合上12月30日12時半(於ロイヤル)と変更

2. 室蘭R、C

12月26日の例会はクリスマスパーティーをかねるため12月24日17時(於ニューブラザー)に変更

3. 札幌々南R、C

12月27日の例会はクリスマス家族会をかねるため18時(於パーク、ホテル)に変更

＊ 出席報告

- |           |        |        |           |
|-----------|--------|--------|-----------|
| 1. 本日の出席  | 会員42名  | 出席34名  | 欠席8名      |
| 2. 前回出席率  | 会員42名  | 出席41名  | 出席率 97.5% |
| 3. 他クラブ状況 | 函館R、C  | 97.32% |           |
|           | 函館北R、C | 95.24% |           |

一週一言

“日本庭園の不均衡”

日本の庭園は大きい自然を象徴するものです。西洋の庭園が多くは均整に造られるのにくらべ、日本の庭園はたいてい不均整に造られますが、不均整は均整よりも、多くのもの、広いものを象徴出来るからであります。

勿論その不均整は、日本人の繊細微妙な感性によつて釣り合いが保たれての上であります。日本の造園ほど複雑、多趣、綿密、したがつてむづかしい造園法はありません。「枯れ水」という、岩や石を組み合わせるだけの法は、その「石組み」によつて、そこにはない山や川、また大海の波の打ち寄せるさままでを現わします。その凝縮を極めると、日本の盆栽となり、盆石となります。

「美しい日本の私」より(川端康成)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第245号

1968~1969-12-23

函館北ロータリークラブ

第230回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

17.30~18.30

四海波 しずかにして 瑞色<sup>ひら</sup>披く

相生の松は茂りて 枝を鳴らさず

“新年おめでとう ございます”

A Happy new year to you

本日のプログラム

新春を迎えて 深瀬会長他

1月のこよみ

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1日 元旦     | 12日 インターアクト週間  |
| 2日 初荷     | 16日 やぶ入り       |
| 4日 官庁御用始め | 19日 雑誌週間(125日) |

1月のロータリー

12日から18日まではインターアクト週間、19日~25日は雑誌(サロータリアン)週間と指定されている。これらの「週間」中は、それぞれ指示された題目に関連したクラブ活動を特に活潑にやつて貰いたいと言う訳である。

又、この月は各クラブで過去半年の足跡を省み残りの半年に備えるためのクラブ協議会を開催すべき月である。一万エバンストンでは、次の次のRI会長を選ぶ会長指名委員会と第2回RI理事会が開かれる。

(RI理事松本兼二郎)

米 司 会 深瀬会長 米 齊 唱 奉仕の理想

米 クリスマス家族会 (P. M 5. 5 0)

親睦委員長挨拶

バンド演奏 (アジア石油K Kグループサウンズ)

齊 唱 きよしこのよる

乾 杯 新 会員の音頭

余 興

御家族ゲーム

会員ゲーム

会員プレゼント交換

福 引 大 会

齊 唱 (手に手つないで)

閉会挨拶 俣野前会長

— ○ ○ —

暖冬異変かと騒がれた12月も師走が迫る20日頃から、クリスマスに間に合わせるが如く大雪が降りだし、クリスマス家族会に適わしい天候となつて、会員33名家族49名、合計82名のクラブ発足以来の多人数のパーティーとなり、なごやかに有意義なものであつた。汗を流して運営に努力された成沢親睦委員長及び親睦委員の皆さんに対し衷心より御礼申し上げます。

### 「ロータリーの強みと弱み」

— 「ロータリーの理想と友愛」より

ロータリーに於いても他の団体に於けると同様に、その根本義と言う事が頻りに論ぜられるが、そもそも根本義とは何であるか。例えば論争をかもす政治問題に就いて討議するのをやめることがそれであるのか。

久しい間しかりと考えられていたのであつた。多くの会員の信条に拠ればロータリーが民族も信仰も異なる多数の人を合して友愛するを得たという未曾有の成功は、一つの事実に基づいている。即ち会員が此処にロータリーと言

う神聖の場所を発見し、彼らは宣伝に乗ぜずまた転宗を強いられないということである。

ロータリーが異民族、異宗教の人々を集合してこれを一致せしめ得たのはこの事実在即しているとロータリアンは信ずるのであるが、これはロータリーの会員を獲得する「強みでもありまた弱みでもある」

結合せしむるものはセメントであると同時に、これが取捨に注意せざれば建築物を粉砕させる爆発薬ともなるのである。

— governor's monthly letter より —

**大通公園** — 日本のロータリーの発展は実に目ざましい。恐らくこれを書いている時点では、英国を上廻つて第2位の会員数になつている。ここで必要な事は、日本の会員がロータリーを自から大切なものとして理解することでないだろうか？

戦争はもう起らない。然し異常の事態が起つても、活動を停止しない国際赤十字のようなロータリークラブを作りあげねばならない。